

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 文化事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 文化人短期招へい
- (2) グループ招へい（指導者・専門家）
- (3) 招へいフェローシップ（文化芸術）
- (4) 招へいフェローシップ（アーティスト・イン・レジデンス）
- (5) 派遣フェローシップ（芸術家）

### 2. 催し等事業費

- (1) 日本文化紹介派遣
- (2) 日本文化紹介（助成）
- (3) 在外日本文化専門家（助成）
- (4) スポーツ専門家短期派遣
- (5) スポーツ専門家交流（助成）

## 文化事業費

### 1. 人物交流事業費 (1)文化人短期招へい

海外の文化の諸分野において指導的立場にある者、日本と当該国の文化交流の上で貢献が期待できる者を招へいし、日本の実情視察、日本側文化人、関係分野の専門家などとの意見交換などの機会を提供する。

合計額 52,921,019円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	CHO, Young-nam	歌手、画家	韓国	04.09.13～ 04.09.20	日本の文化状況視察並びに音楽・美術関係者との懇談
2	HYUN, Ki-young	韓国文化芸術振興院長	韓国	04.11.02～ 04.11.11	日本の文化政策関係者との懇談ならびに各種文化施設の視察
3	DAMBA, Tsembel	人文大学人文学部ジャーナリズム学科主任教授、作家、ジャーナリスト	モンゴル	04.10.02～ 04.10.16	日本の作家との意見交換、日本人学生との自由討論、現代日本をモンゴルに紹介する著書執筆
4	SARUMPAET, Ratna	ジャカルタ・アート・カウンスル代表	インドネシア	05.03.31～ 05.04.14	日本の主要文化・芸術機関を訪問、今後の日伊芸術交流の可能性について協議。また、演劇関係者のみならずより深く日本の文化的基盤について視察
5	DE UNGRIA, Ricard M.	フィリピン大学ミンダナオ校学長	フィリピン	04.11.21～ 04.12.05	大学長として日本語・日本文学開講のための意見交換。日本の詩歌、特に俳句の実作者との意見交換。芭蕉「奥の細道」ゆかりの土地への旅行。英語俳句についての意見交換
6	D'CRUZ, Marion	ファイブアーツセンター代表	マレーシア	05.03.08～ 05.03.21	日本の現代舞踊の動向、および芸術振興活動一般に関する調査
7	SHARMA, Sudhakar	ラリット・カラ・アカデミー(国立美術アカデミー)事務局長	インド	04.10.17～ 04.10.31	インドの美術振興を行なう機関の長として、日本の美術振興行政を視察。また、日本の博物館や美術館を訪問し、日本の古典美術、現代美術を鑑賞すると共に、将来の美術交流の可能性を模索した
8	FAIZ, S.M.A.	ダッカ大学(副)学長	バングラデシュ	04.07.26～ 04.08.09	ダッカ大学と日本の大学の連携・共同関係の構築のための大学学長他関係者との意見交換
9	HUNT, Sue	シドニー・オペラハウス 舞台芸術部門ディレクター (役員)	オーストラリア	04.10.17～ 04.10.31	日本の舞台芸術関係者、芸術機関とのネットワーク作りおよび日豪舞台芸術交流、共同制作の推進
10	HOFSTETTER, Mary E.	バンフ・センター理事長	カナダ	04.09.24～ 04.10.07	日加共同制作の推進および日加間の芸術・文化専門家のネットワーク強化を目的として、日本の現代芸術および国際共同制作の現況を視察し、舞台芸術、美術、映画、日本国内アーティスト・イン・レジデンス等関係者との意見交換を行なった

	氏名	現職	国	期間	事業内容
11	TORRES CRESPO, Victor	キューバ国営ラ ジオ・テレビ協 会音楽番組制作 局長	キューバ	04.09.05～ 04.09.19	日本のマスコミ・映像関係者との意見交換・人脈 形成を通し両国の文化交流促進を目指す。同時 に、日本のテレビ技術等の現状を視察
12	TUNNERMANN, Carlos	ニカラグア作家 協会会長	ニカラグア	04.10.10～ 04.10.24	日本・ニカラグア間の学术交流の促進
13	FARIAS, Agnaldo	インスティ チュート・トミ エ・オオタケ(大 竹富江財団) キュレーター	ブラジル	05.02.14～ 05.02.28	日本の現代美術の動向視察、現代美術における意 見交換、美術交流事業促進
14	ZAMBRANO MEZA, Gregory Simon	国立ロス・アン デス大学メリダ 校人文学部文学 科長	ベネズエラ	04.11.12～ 04.11.26	日本とベネズエラ間の大学間交流の活発化および 研究交流の推進
15	GRAESSLIN, Karola	ブラウンシュバ イク美術連盟館 長	ドイツ	05.03.20～ 05.04.01	現代美術館関係者・作家との交流、プロジェクト 企画相談、日本文化・美術視察
16	BAUDRILLER, Vincent	アヴィニオン フェスティバル 総監督	フランス	04.11.07～ 04.11.14	日本の舞台芸術に関する知識と理解を深め、将 来の日仏間の舞台芸術交流の促進および日本の舞 台芸術を紹介
17	MILKANI, Eno	マット・コミュ ニケーションプ ロデューサー	アルバニア	04.10.12～ 04.10.26	日本の文化・社会事情を実際に視察、撮影し、ド キュメンタリーを作成することにより、日本を知ら ないアルバニアの人々に日本の姿を紹介
18	SEISENBAEV, Rollan	国際アバイクラ ブ会長・作家	カザフスタン	04.10.06～ 04.10.19	日本文学会関係者との懇談。東京、京都、広島、 長崎等主要都市を訪問。石原慎太郎、小田実など 関係者との会合
19	BUDAK, Neven	ザグレブ大学哲 学部学部長	クロアチア	04.10.26～ 04.11.07	2004年秋開設予定の同学部内日本研究科開設準備 のため、日本の大学との学术交流
20	RENNER, Zsuzsanna	ホップ・フェレ ンツ東洋美術館 館長	ハンガリー	05.02.15～ 05.03.01	ホップ・フェレンツ美術館にて2005年春に開催を 予定している「漆器コレクション展」開催のため の漆器関係情報収集およびハンガリーにおける日 本美術展覧会開催企画立案のための美術関係者 との面談
21	SEMERDJIEV, Stanislav	国立演劇・映画 芸術アカデミー 学長	ブルガリア	04.07.18～ 04.08.01	両国間の協力関係を堅固なものとするとともに更 に発展させた
22	ZVYAGINTSEV, Andrey	映画監督	ロシア	05.01.06～ 05.01.15	映画交流の促進。日本をテーマとした映画作品の 制作のための情報収集

## 文化事業費

	氏名	現職	国	期間	事業内容
23	ALREFAIE, Hashem A.A.M.Y.	国家文化芸術文 芸委員会造形美 術局局長	クウェート	05.02.16～ 05.03.02	我が国の現代および伝統芸術関連施設視察、我が 国の芸術関係者・芸術関連機関との意見交換
24	AL-REFAIE, Hashem Ahmed	国家文化芸術文 芸委員会芸術局 長	クウェート	05.02.16～ 05.03.02	我が国の現代および伝統芸術関連施設視察・我が 国の幻術関係者芸術関連機関との意見交換
25	EL- SHOUBASHY, Cherif	エジプト文化省 第一次官（対外 文化関係担当）	エジプト	04.09.18～ 04.09.29	日本の文化行政視察、日本文化・芸術視察
26	LOYISO, Nongxa	ヴィットパー タースラント大 学学長	南アフリカ	04.10.23～ 04.11.07	日本教育・研究事情の視察、および教育・研究者 との意見交換

### 1. 人物交流事業費 (2) グループ招へい（指導者・専門家）

日本文化の特定分野に共通の関心を有する指導者・専門家をグループで招へいし、研修・視察・関係者との意見交換の機会を提供する。

合計額 19,059,870円

	グループ名	国	人数	期間	事業内容
1	東南アジア映画 人グループ	インドネシア シンガポール タイ フィリピン マレーシア	2 2 2 2 2	04.10.17～ 04.10.29	東南アジア5カ国（インドネシア、シンガポール、タイ、フィ リピン、マレーシア）より映画祭関係者および映画関係ジャー ナリスト計10名を招へい
2	日本研究情報専 門家研修	韓国 中国 タイ ベトナム オーストラリ ア カナダ 米国 ブラジル イタリア 英国 ドイツ フランス ロシア	1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 4 1	04.11.28～ 04.12.18	世界各地における日本研究者等への情報提供サービス、日本 に対する国際的理解向上に寄与する為、国立国会図書館との 共催、国立情報学研究所および国際文化会館の協力により、 海外の日本研究情報を扱う専門家（司書等）を本邦に招へい し、研修を実施
3	ロシアテレビ番 組制作者グルー プ	ロシア	5	05.03.24～ 05.04.04	日本を紹介するテレビ番組を制作するため、ロシアのテレビ 番組プロダクションから制作スタッフを招へい

## 1. 人物交流事業費 (3)招へいフェローシップ (文化芸術)

諸外国の優れた芸術家・文化事業実務専門家・文化財保存専門家などに、日本で制作・技術習得等の活動を行なう機会を提供する。

合計額 16,211,079円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	HUJATNIKA, Agung	スラサール・スナルヨ・アート・スペースキュレーター	インドネシア	04.06.06～ 04.09.03	ナンジョウアンドアソシエイツ	日本の現代美術
2	HUSAIN, Sabah	ラホール芸術信託財団・国立芸術大学理事長・準教授	パキスタン	04.06.11～ 04.12.10	東京芸術大学美術学部	創作版画および和紙の製作
3	MCCORKLE, Corey, J	フリーランス	米国	04.05.07～ 04.08.01	深瀬記念視覚芸術保存基金	立体作品の来日制作および個展「For Greater Velocity Towards Grace」(速やかに見性に導く)の開催
4	OPPENHEIMER, Sarah Ruth	イエール大学芸術学部非常勤講師	米国	04.01.04～ 04.05.16	京都精華大学	紙と建築等の関係を通じたデザインが人間の行動に及ぼす影響
5	OFFENHUBER, Dietmar	アレス・エレクトロニカ・フューチャーラボ主任研究員	オーストリア	04.09.16～ 04.11.10	情報科学芸術大学院大学	ループ・シティ(環状都市):繰り返される動作・行動に材をとった都市の相互作用的な描写
6	CREVOISIER, Alain	エンジニア	スイス	04.03.29～ 04.08.28	西陣ファクトリーガーデン	Soun'dance - 舞踏と音響の基礎的な相互関係について
7	DOBOROVIC, Zvonimir	クイアー・ザグレブ芸術監督	クロアチア	04.12.16～ 05.05.15	京都舞台芸術研究センター	現代日本芸術における性に関する価値観のディコンストラクションとクイアー・アート
8	KRASZNAHORKAI, Laszlo	仏門仏教大学理事長、作家	ハンガリー	05.03.15～ 05.09.15	大阪大学	現代日本美学に反映された日本庭園の形而上的価値
9	MWENI, Ashina Kibibi	フリーランサー	ケニア	04.05.06～ 04.07.05	熊本大学文学部地域学科	日本とケニアの国際交流をテーマとした映像作品の制作をめざした取材と研究

## 文化事業費

1. 人物交流事業費	(4)招へいフェローシップ (アーティスト・イン・レジデンス)
------------	---------------------------------

諸外国の芸術家を対象に、日本国内のアーティスト・イン・レジデンスに参加する機会を提供する。

合計額 1,455,875円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	HORELL, Laura	アーティスト	フィンランド	04.10.06～ 04.12.18	秋吉台国際芸術村	ブロードキャスト！プロジェクト

1. 人物交流事業費	(5)派遣フェローシップ (芸術家)
------------	--------------------

芸術分野における国際的なネットワーク構築・交流促進などのため、海外で活動を行なう芸術家に対しフェローシップを支給する。

合計額 5,716,670円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	豊永盛人	琉球玩具作家	インドネシア	04.09.15～ 04.10.15	BENDA. ART. SPACE	インドネシアでの個展の開催を中心に、在住アーティストや職人との交流会を行ない、意見交換をした。また、個展開催の前後には、日本の玩具作り(張子)の体験講座を開き、芸術家のみならず一般人にも紹介
2	和栗由紀夫	和栗由紀夫+好善社主宰	インドネシア ブラジル	04.09.01～ 04.11.30	Padepokan Lemah Putih Dance Institute Catholic University of Sao Paulo	インドネシアのソロ、ブラジルのサンパウロ、2カ所にて舞踏活動を行なった。ソロでは舞踊研究所にて舞踏授業という形での指導ならびに、現地芸術家との共同作業にて作品を作成。サンパウロでは大学内での舞踏授業、作品制作を行なうと平行して一般、舞踊家を対象とした舞踏指導を行ない、次世代の人物養成に寄与した
3	土岐健次	漆造形作家	英国	04.09.01～ 04.10.01	The Robert Gordon University School of Art	デジタル技術と工芸の高度な統合を目指すHybrid Practiceと呼ばれる領域を研究する美術作家として、国際会議の機会に、各国からの招へい者16名とデジタル技術を用いた共同制作を行なうとともに申請者自身の作品発表も行なった

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
4	服部俊弘	造形作家	オランダ	04.07.05～ 05.07.05	Studio Puck Bramlage	欧米で重要な美術分野のひとつであるペーパーアートやアーティストブックに関する調査。紙漉き紙製法や手製本等の伝統技法と現代の美術・社会との関係性を調査・研究し、その成果をもとに新しい作品を制作
5	山岡佐紀子	芸術家（パフォーマンスアート）	スイス ドイツ	04.09.08～ 04.12.13	E.P.I (European Performance Institute) Zentrum Seedamm- Kulturzentrum	1980年以降のヨーロッパにおける日本芸術家によるパフォーマンスアートを、再記録、再評価し、日本芸術の一分野として特徴づけることにより、日本のパフォーマンスアートの研究と発展、教育に寄与。また、申請者のパフォーマンス活動をプレゼンテーションした

2. 催し等事業費	(1) 日本文化紹介派遣
-----------	--------------

講演、指導・デモンストレーション、小規模公演などを通じ日本文化の紹介を行なうため、わが国の個人または少人数のグループ（10名以内）を数か国あるいは1国内数都市に派遣する。

合計額 26,069,827円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	山村浩二	アニメーション作家	韓国	04.8.27～ 04.8.30	ソウル日本文化センター	日本のアートアニメーションについての講演、全作品上映会、ワークショップを実施
2	深川雅史 大縄茂	川崎市市民ミュージアム主任学芸員 デザイナー	韓国	05.03.09～ 05.03.13	ソウル日本文化センター	現代日本のデザインに関する講演・シンポジウムを実施（「現代日本のデザイン100選」展関連企画）
3	奥泉光	作家	インドネシア タイ	05.03.26～ 05.04.02	ジャカルタ日本文化センター バンコク日本文化センター	日本現代文学に関する講演を実施
4	杉原芳彦 佐々木康人	池坊華道教授	ベトナム ミャンマー	04.11.01～ 04.11.15	在ホーチミン総領事館 在ミャンマー大使館	生け花のレクチャー・デモンストレーションを行なった
5	小林恭二	作家	マレーシア	05.03.26～ 05.04.02	クアラルンプール日本文化センター	日本の現代文学の紹介、俳句ワークショップを実施

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
6	藤原帰一	東京大学教授	インド ブータン	05.02.15～ 05.02.23	ニューデリー事 務所	「日本の政治情勢と世界」を テーマに、思想家、作家、政治 学者等による講演会を実施
7	中村亨	財団法人日本盆 裁協会	パキスタン バングラデ シュ	05.02.22～ 05.03.03	在パキスタン大 使館 在バングラディ シュ大使館	盆裁のレクチャー・デモンストレー ションを実施
8	柏木博	武蔵野美術大学 教授・デザイン 評論家	カナダ ブラジル	05.03.13～ 05.03.26	トロント日本文 化センター サンパウロ日本 文化センター	グラフィックデザインに関する 講演会実施
9	津留見裕子 車谷円実	日本折紙協会会 員折紙師範 日本折紙協会事 務局員	米国 メキシコ コスタリカ	05.02.03～ 05.02.19	在シカゴ領事館 メキシコ事務所 在コスタリカ大 使館	折り紙の専門家による講演・実 演および指導の実施
10	原喜代子 小見山峰子	財団法人小原流 華道教授	アラブ首長国 連邦 エジプト サウジアラビ ア	05.03.02～ 05.03.19	カイロ事務所 在アラブ首長国 連邦大使館 在サウジアラビ ア大使館 在ジェッダ総領 事館	生け花のレクチャー、デモンストレー ション、ワークショップの実施
11	大坪光泉 大坪藤枝	いけばな龍生派 教授	シリア ヨルダン レバノン	04.11.23～ 04.12.12	在シリア大使館 在ヨルダン大使 館 在レバノン大使 館	生け花のレクチャー・デモンストレー ション、ワークショップの実施

2. 催し等事業費 (2) 日本文化紹介 (助成)

日本に対する認知・理解促進や相互交流などに寄与するため、海外で実施される日本文化に係る事業に対し助成を行なう。  
合計額 29,489,026円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	中川茂昭	シゲ・ナカガワ 切絵工房	韓国	04.07.30～ 04.08.09	在韓国大使館	日韓両国の小中高校生に切り絵 の制作指導を行なった。また、 韓国の図工・美術教師への講習 会を実施し、韓国における切り 絵の普及に取り組んだ



	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
2	藤浩志	藤浩志企画制作 室代表	タイ	04.07.31～ 04.08.17	バンコク日本文 化センター	タイ現代芸術委員会が主催する「Fly With Me To Another World」の一環として、家庭から排出されるビニール、プラスチック素材を使用したアート活動のデモンストレーションとワークショップである「プラプラモード」を実施
3	松本實	有限会社ウエスト 企画専務	フィリピン	04.06.20～ 04.06.27	シナーグ・アーツ・ファン デーション	日本の伝統文化である「着物」を紹介。講演会「歌舞伎の役柄と色彩について」、デモンストレーション「着物の美しさと楽しさ」、講座「着物の着付け方」、ワークショップ「着物の色彩・模様」を実施
4	佐藤弘	白根凧合戦協 会会長	ブルネイ	04.04.16～ 04.04.21	在ブルネイ大使 館	日本ブルネイ国交樹立20周年に際し、白根市の凧揚げを上演し、凧作り教室を開催
5	橋口譲二	有限会社ミト ローバ代表取締 役	インド	04.07.01～ 04.08.02	ドクター・アン ベデガー・メモ リアル・スクール 他	芸術や文化を享受する機会の少ないインドの少年少女を対象に、写真と絵のワークショップを実施し、一般向け展覧会を開催、最終的には写真集・画集制作も行った
6	向笠友子	洋画家、ギャラ リー大蔵主宰	インド	04.09.16～ 04.10.08	カタラヤ基金等	絵画、陶芸、染織を通じて、インドの貧困家庭の子供達、地方の職人との文化交流、技術交流を実施
7	帯谷宗英	陶芸家	インド	04.11.16～ 04.11.25	在インド大使館 等	11月にニューデリーで開催される日本文化月間、コルカタで開催される日本現代展に参加し、おびや陶芸に関する講演およびワークショップを実施し、それらの作陶の特徴である「特殊手ひねり手法の陶芸」を通じ日本の陶芸文化を紹介
8	宮崎久美子	いけばな師範	インド	04.11.21～ 04.12.01	イケバナ・イン ターナショナル 他	11月24・25日にインド・デリーで開催される「日本文化月間」において、小原流いけばな教師2名によるデモンストレーションとワークショップを実施するとともに、ムンバイにも巡回し印日協会50周年記念事業の一環としてデモンストレーションとワークショップを実施

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
9	斉藤博敏	盆栽家	インド	05.03.29～ 05.04.05	在インド大使館、デリー盆栽協会	2005年4月1日～4日ニューデリーにおいて、デリー盆栽協会設立25周年記念盆栽展、デモンストレーション、ワークショップがデリー市の全面的な支援を得て、モーリヤシェラトンで開催
10	近藤蕉肝	成蹊大学経済学部教授	カナダ	04.05.18～ 04.05.29	カナダ俳句協会	在カナダ大使館にて「俳句と連句の根と芽」と題する講演、および全国大会にて俳句の朗読を日英両言語で実施
11	小本章	小本章	カナダ	04.09.04～ 04.09.23	ジョージアンカレッジ美術研究室	300mの布を南から北へ人々が支え、その線に沿い上空に白煙を描く参加型パフォーマンスと、大学にて日本の現代美術に関するレクチャーを実施
12	竹田真砂子	日本文芸家協会	カナダ	04.09.24～ 04.10.03	日系文化会館	作家による歌舞伎レクチャーと歌舞伎映画「仮名手本忠臣蔵」上映を実施
13	鈴木光司	作家	カナダ	04.10.23～ 04.10.30	トロント国際作家祭事務局	カナダ・トロント「ハーバードフロントセンター」を会場とし、80名以上の世界の著名な現役作家を招待して開催された、世界最大規模の作家祭
14	横山學	ノートルダム清心女子大学人間生活学部教授	米国	04.08.20～ 04.09.21	ハワイ大学図書館	サカマキホーレーコレクションにある宝玲文庫および薩摩琉球関係資料についての史科学・書誌学的な解説を行ない史料の分類整理の概要と目録化の指導を実施
15	黒田隆二	国際宇宙大学(在フランス)名誉理事	米国	04.09.15～ 04.09.26	在シカゴ総領事館	米国の中高生と一般ならびに専門家を対象に墨流しならびに水紋画の展示デモンストレーションを実施
16	下村勝彦	静岡相撲連盟理事長	米国	05.03.12～ 05.03.21	カリフォルニア相撲連盟他	日本から有段者の相撲指導員およびアマチュア力士を派遣し、カリフォルニア相撲連盟などの協力により、ロスアンゼルス、サンタモニカ、サンディエゴ、シアトル、アンカレッジの5都市でレクチャーとデモンストレーションを実施

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
17	長崎巖	共立女子大学家政学部教授	米国	05.03.17～ 05.04.08	メトロポリタン美術館	メトロポリタン美術館所蔵の奈良から明治時代にわたる約200点の日本染織品の調査と取りまとめと分析修復保存に関する指導を実施
18	蔵重伸		エルサルバドル グアテマラ	05.03.01～ 05.03.12	在エルサルバドル大使館等	日本・エルサルバドル国交樹立70周年および日本・グアテマラ外交関係樹立70周年記念事業の一環として、生け花のデモンストレーションおよび展示会を実施した
19	長友秀実	国際囲碁親善交流の会会長	キューバ	04.11.18～ 04.11.28	INDERおよびキューバ囲碁協会	日本キューバ外交関係樹立75周年記念事業の一つとして、「キューバにおける囲碁週間」が開催され、キューバの数都市（ハバナ、サンチャゴ・デ・クーバ、サンタクララ、カマグエイ等）で囲碁のレクチャー、指導および親善交流試合を行なった
20	加藤耕子	俳人協会評議員	コロンビア	04.06.13～ 04.06.23	ブラジル日本文化協会	世界50カ国よりの参加者により構成される詩祭にて日本代表として俳句を発表しレクチャーも実施
21	永武ひかる	ワンダーアイズプロジェクト代表	ブラジル	04.09.27～ 04.12.04	サンパウロ、ポンペイア地区商業社会会館他	ワンダーアイズプロジェクトで日本の子供たちが撮影した作品を紹介し、日本の今を伝える講演を主軸に、ワークショップと写真展示をあわせた複合的な活動を実施
22	渡辺保	放送大学教授	イタリア	04.09.24～ 04.10.09	ペルージャ大学、ローマ日本文化会館	日本における「舞踊」に関するレクチャーを実施
23	いしかわあいこ	音楽館 Casa della Musica 主宰	イタリア クロアチア	04.11.10～ 04.12.05	Alberto Benetti協会	着物および十二単に関する講演、着装実演を実施
24	尾立和則	京都造形芸術大学助教授	英国	04.07.23～ 04.08.13	ノーザンブリア大学	版画・素描など「紙」を用いた作品の修復専門家を対象として、日本の表装技術に関するワークショップを実施
25	多田牧子	日本女子大学化成学部被服科非常勤講師	英国	04.08.12～ 04.08.27	The Braids Society	The Braids Society設立10周年に際して1年間実施される記念展示会および講習会において、講習会の指導・ワークショップを行なった

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
26	渡辺隆	土岐市立陶磁器試験場専門研究員	英国	04.08.28～ 04.09.11	グラスゴー大学	桃山茶陶に関するレクチャーと、茶陶の制作実演および陶芸技法の紹介を内容とするワークショップを実施
27	藺田穰	株式会社藺田造園設計事務所代表取締役	スペイン ポルトガル	05.03.07～ 05.03.18	カタルーニャ建築家協会他	日本国内の名園および派遣者設計の日本庭園（外国のものも含む）のスライドを上映しながら、日本庭園の歴史や他の国の庭園との違いを説明し、日本の伝統文化の背景に触れた
28	安倍吉輝	財団法人日本棋院専門棋士九段	ドイツ ブルガリア	04.04.23～ 04.05.04	ドイツ囲碁協会 ブルガリア囲碁クラブ他	ブルガリア、ドイツにおける囲碁文化普及の促進
29	山田勇男	映画作家	ドイツ	04.04.26～ 04.05.012	オーバーハウゼン国際短篇映画祭事務局	「第50回オーバーハウゼン国際短編映画祭」において自身の作品が上映されるのに合わせてレクチャーを実施
30	佐藤秀司	日本将棋連盟専門棋士六段	ドイツ フランス	04.05.05～ 04.05.16	日本将棋連盟ドイツ支部・フランス支部	財団法人日本将棋連盟に所属する専門棋士による将棋レクチャーおよび指導を実施
31	渋谷和良	明星大学日本文化学部造形芸術学科助教授	ドイツ	04.06.01～ 04.06.06	ケルン日本文化センター	ドイツ「恵光」日本文化センター、ケルン日本文化会館において伝統木版画の実演およびレクチャーを実施
32	前野茂雄	日本頭脳スポーツ協会理事長	ドイツ	04.10.16～ 04.10.26	SPIEL2004	ドイツ・エッセンで行われる国際ゲームイベント（SPIELスピーエル）の特設イベントとして、百人一首、花札、ミニヤード、そろばん球ゲーム等日本で生れた文化的ゲーム16競技の紹介等を行なった
33	深川雅文	美術館学芸員	ドイツ	04.10.27～ 04.11.03	ドイツ写真協会	世界的に有名な写真家・森山大道氏がドイツ写真協会の2004年度文化賞を受賞する事が決まり、10月末のArt Cologne芸術見本市に合わせて授賞式が実施されることになり、授賞式での講演

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
34	藤原智子	記録映画監督	ドイツ	05.03.09～ 05.03.16	ケルン日本文化 会館他	ケルン日本文化会館、デュッセルドルフ「恵光」日本文化センターおよびベルリン森鷗外記念館のドイツ3カ所における「ルイズその旅立ち」の公開に際し、監督講演を行なった。ケルン文化会館においては、短編作品が数本上映。実施機関の依頼により、「ルイズ」の作品、歴史的背景や製作の動機・過程についての解説に加え、自身の映画監督としての行き方に関する内容を講演
35	ヒロコ・ムトー	エッセイスト	フランス	05.01.09～ 05.01.18	パリ日本文化会 館	申請者の母親マサコ・ムトーが、記憶をもとに大正から昭和時代の日本の四季や習俗を小さな紙人形で再現した作品の展示、講演を行なった
36	太田曜	実験映画作家	フランス	05.02.24～ 05.03.25	LIGHT CONE Scratch Projection	日本でこの2年間ぐらいの間に制作された優れた実験映画の短編作品を2つのプログラムにして、フランスを中心とするヨーロッパ各地で上映。上映に同行する作家が、美術館、アートセンター、映画館、大学等の上映会場でレクチャーを行ない、現地実験映画関係者等と交流
37	奥村恵美子	奥村恵美子	ベルギー フランス	04.10.10～ 04.10.18	在ベルギー大使 館 パリ日本文化会 館	4作品「六甲の山荘 在Be」「たじま住暮し:然」「縁」「継つなぐ心と技」の上映と「ドキュメンタリー表現の新しい可能性」と題する講演を行なった。今の日本人が持っている精神文化を今の風景と今を生きている人々の語りによって、表現した映像作品によって、日本文化の紹介
38	笠井伸二	有限会社山十製 紙代表取締役	ブルガリア	04.10.20～ 04.10.30	ブルガリア美術 協会他	在ブルガリア大使館主催の「日本文化月間」の一プログラムとして現地の植物を使用した和紙の製作の実施

文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
39	佐竹邦子	多摩美術大学美術学部版画科非常勤講師	ポーランド	04.09.28～ 04.10.18	ポーランド日本協会他	ポーランド・ボズナニMuzeum Literackie Henryka Sienkiewiczaにおいて「木を使ったリトグラフ」展を実施し、合わせて実制作者によるギャラリートークおよび現地の作家・子供たちを対象とした技法解説・ワークショップを行なった。ワルシャワでは在ポーランド日本大使館広報文化センターのオープン企画に伴う展示・ワークショップを実施
40	田島栄次	NGO折り紙外交の会代表	イラン	04.07.15～ 04.07.29	KANOON (The Institute for the Intellectual Development of Children and Young Adults)	イラン(特にバム地区)における地震被災児童および教師との折り紙交流・指導
41	小堀宗園	小堀遠州流茶道家元	ヨルダン	04.05.07～ 04.05.15	在ヨルダン大使館	ヨルダンにおける茶道デモンストレーションの実施、および現地芸術家との懇談
42	柳田青蘭	学書院院長	ヨルダン	04.11.20～ 04.11.27	在ヨルダン大使館	日・ヨルダン外交関係樹立50周年記念事業の一環として書道のデモンストレーションおよびワークショップの実施
43	草川悦子	イベントコーディネーター	ヨルダン	05.02.06～ 05.02.13	在ヨルダン大使館	日本・ヨルダン外交関係樹立50周年記念事業の一環で着物を紹介する プロジェクターを用いた講演、着付けデモンストレーション、着物に関する小物展示、現地衣裳見学
44	粕谷明弘	一葉式いけ花家元	スーダン	05.02.15～ 05.02.25	在スーダン大使館	一般市民に対する生け花デモンストレーション・ワークショップおよび、現地大統領儀典局の装飾要員の訓練を行なった

## 2. 催し等事業費 (3) 在外日本文化専門家 (助成)

非ODA対象国に居住する優れた日本人の学者・芸術家などがODA対象国にて実施する日本文化紹介事業に対し助成を行なう。

合計額 183,820円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	BREILLAT 鈴木みどり	池坊華道師範	ギニア	05.02.06～ 05.02.13	在ギニア大使館	ギニア共和国コナクリ市において、生け花のレクチャー・デモンストレーションを行なう。いくつかの生け花の作品を展示しつつ、生け花の考え方や歴史等について説明し、あわせて具体的な解説を行ないながら実際に生け花を実演

## 2. 催し等事業費 (4) スポーツ専門家短期派遣

スポーツ分野における人物交流の振興を図るため、スポーツ専門家（上限10名）を数カ国に派遣し指導・デモンストレーション、親善試合などを行なう。

合計額 33,949,395円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	山口紘史 大出敏夫 前田利明 香川政夫	全日本空手道剛柔会 株式会社日本エム・ケー・デイ NPO法人日本空手松涛会	エルサルバドル ジャマイカ ウルグアイ	05.02.10～ 05.02.27	在ウルグアイ大使館 在ジャマイカ大使館 在エルサルバドル大使館	空手のデモンストレーションを行なった
2	伊藤洋造 柳田俊介 長友憲一郎 村松真孝 小松幸司	株式会社新潟録音社 俊和実業株式会社 村岡郵便局 社会福祉法人富士富福社会 小樽市役所	アラブ首長国連邦 カタール	05.02.17～ 05.02.25	在アラブ首長国連邦大使館 在カタール大使館	空手のデモンストレーションおよび実技指導の実施
3	阿部圭吾 澁谷孝 粕谷均 横道正明	日本松涛館空手協会 日本ウェルネス専門学校 ワールド松涛館空手道連盟 国土館大学	ヨルダン ケニア	04.11.30～ 04.12.11	在ヨルダン大使館 在ケニア大使館	空手デモンストレーション

## 文化事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
4	村田直樹 栴澤博之 窪田茂 坂本直人  甲斐清友	財団法人講道館 群馬県警察学校 旭化成株式会社 ダイコロ株式会 社 宮崎県警察	レバノン リビア カメルーン	04.11.02～ 04.11.30	在レバノン大使 館 在リビア大使館 在カメルーン大 使館	柔道のデモンストレーションを 実施

### 2. 催し等事業費 (5) スポーツ専門家交流 (助成)

スポーツ分野における交流を促進するため、主としてODA対象国で実施される日本の伝統スポーツあるいは日本が高い水準にあるスポーツの講習会やデモンストレーションなどの事業に対し助成を行なう。

合計額 9,570,028円

	事業名	団体	人数	国	期間	事業内容
1	テニス	社団法人プロテ ニス協会	1	ミャンマー	05.03.15～ 05.04.14	ミャンマーにテニス指導の専門家を派遣 し、選手育成強化・指導者の指導力向上・ 環境整備・国内大会実施のアドバイス・審 判員のレベル向上等を目的とした指導を行 なった
2	少林寺	財団法人少林寺 拳法連盟	3	キューバ チリ ブラジル	04.06.14～ 04.07.08	ブラジル、チリ、キューバにおいて少林寺 拳法のデモンストレーションを実施
3	剣道	財団法人全日本 剣道連盟	3	アルゼンチン チリ ブラジル	04.07.14～ 04.07.27	ブラジルの有段者大会において指導講習 会、審査会の実施。また、三カ国共通とし て稽古指導、昇段審査、演舞会の実施
4	レスリング	財団法人日本レ スリング協会	1	ギリシャ ハンガリー	04.06.04～ 04.09.01	アフガニスタン復興支援の一環として、ア フガニスタンオリンピック委員会からの要 請に基づき、アテネへレスリング専門家を 派遣し、アフガニスタンオリンピック代表 選手に対する技術指導および国際ルール等 の指導
5	剣道	財団法人全日本 剣道連盟	7	フランス	05.03.10～ 05.03.15	フランスの武道連盟が主催する剣道と関連 武道国際演武大会に専門家を派遣する。 初日は欧州各地の剣道家が日本から別途参 加する学生を交えて段位別の立会い演武を 行なった。 次いで日本の武道専門家が演武を行なう。 二日目は剣道と他武道の交流立会いを行 なった。 最後に欧州各国からの参加者を交えて親善 稽古を行なった



	事業名	団体	人数	国	期間	事業内容
6	武道	財団法人日本武道館	5	ポルトガル	04.11.24～ 04.11.30	ポルトガル・リスボン市主催による「ジャパンウィーク」に同市より正式招へいを受けて、日本武道の紹介および文化交流を行った
7	新体操	社団法人日本新体操連盟	3	エジプト	05.02.19～ 05.02.26	エジプトと日本のスポーツを通じ交流を実施するにあたり、新体操というスポーツをエジプトに普及発展させるために、エジプト・ヘラワン大学にて新体操の実技講習会を開催